

## 第28回神戸港港湾審議会計画部会議事録

### 1. 会議の日時及び場所

- (1) 日 時 平成29年5月15日(月) 午後1時30分開会
- (2) 場 所 神戸市役所1号館21階 みなと総局第1会議室

### 2. 出席委員の氏名

#### (1) 学識経験者

竹 林 幹 雄  
井 上 欣 三  
川 島 毅  
金 子 彰

#### (2) 市会議員

平 井 真 千 子  
沖 久 正 留

#### (3) 港湾関係者

内 藤 忠 顕 (代理 堤 義 晴 )  
嶋 頭 明 人

#### (4) 関係行政機関の職員

池 田 豊 人 (代理 久 米 英 輝 )  
神 原 昌 彦 (代理 岩 崎 成 晃 )

以上、出席委員 10名

欠席委員 0名

### 3. 議事の経過概要及びその結果

#### (1) 開会

#### (2) 委員の紹介

#### (3) 委員の出席状況報告

委員総数10名中出席委員10名であり、本会議は有効に成立していることを報告

#### (4) 神戸港港湾計画の軽易な変更について

小嶋計画課長から説明

(資料-1 神戸港港湾計画(軽易な変更)について(諮問)(写))

(資料-1(1)神戸港港湾計画書(案)-軽易な変更-)

(資料-1 (2) 神戸港港湾計画資料 (案) -軽易な変更-)

[質疑等要旨]

(委員) ポートアイランド (第2期) 地区の南緑地の変更について、当該緑地は港や空港、明石海峡大橋まで見える最高のロケーションであり、市民への利便性の向上という観点で、駐車スペースの整備はありがたい。

この敷地でどのくらいの車が止められるのか。

(事務局) レイアウトのひとつの例として、最大 30 台くらいの駐車スペースが確保できると考えている。

(委員) 駐車場の整備とあわせて、緑地自体のさらなる PR を要望したい。

以上の審議の結果、満場一致により原案を可決した。

(5) 臨港地区の変更について

小嶋計画課長から説明

(資料-2 臨港地区の変更について (諮問) (写))

(資料-2 (1) 臨港地区の変更について (案))

以上の審議の結果、満場一致により原案を可決した。

(6) その他

神戸港将来構想について、小嶋計画課長から説明

[質疑等要旨]

(委員) 今後、この構想を説明する際には、にぎわいと物流が一体となって神戸港が発展していくという点を強調していくとよい。

(事務局) 今後、そのように意識して説明を行う。

(委員) 10 年間の中期計画を策定する際には、海上交通の観点から、「一方通行」「右側通行」という概念を踏まえて、合理的な航路設計、バース配置の検討を進めてほしい。

(事務局) ご指摘いただいたとおり、海上交通の視点を忘れずに、具体的な検討を進めることとする。

(委員) クルーズ対応について、30 年後、現在よりさらに大型のクルーズ船が入ってくるとなると、大阪湾岸道路の内側では対応できないのではないかと。

(事務局) 研究会の中でもこれまで議論されてきており、冊子の中でも、現在の想定以上の超大型船が展望される場合には、橋梁の外側でのターミナル整備も検討していくこととしている。

(委員) この構想と現在の国際コンテナ戦略港湾との関係性は。

(部会長) 研究会に参加した立場から回答するが、国際コンテナ戦略港湾政策は今回の構想の前提として、今後も進めていくものであり、そのうえでさらに取り組むべきことについて、検討してきたものと認識をしている。

(委員) 瀬戸内海や海外の他港との強いつながりによって、ビジネスも含め、賑わいが生まれると考える。具体的な取り組みにあたっては、そのあたりも考えてほしい。

(事務局) 2月に国際会議を開催し、11の港湾管理者とMOUを締結した。今後はこの具体化をはじめとして、ひとつひとつ積み重ねながら、取り組んでいきたい。

(委員) 構想を進めるにあたっては、関係機関、関係官公庁との調整も十分に行ってほしい。

(事務局) 具体化にあたっては、関係者の理解を十分得ながら進めていく。

(委員) クルーズターミナルを大阪湾岸道路の南側で想定した場合、空港島やポートアイランド第2期の南側であれば、見栄えがよく、クルーズ客に喜ばれるのではないかと。新港第1突堤と第2突堤の間に描かれているマリーナから出てくるヨットやボートによる水面の賑わいととも、それを目的に集まる人の賑わいも一体的に考えて行ってほしい。

(事務局) ご意見をいただいたとおり、水面そのものをウォーターフロントの賑わいづくりに活用するような再開発を考えていきたい。

以上の審議の結果、満場一致により原案を可決した。

## (7) 閉会